



会長あいさつ



石村 聖一郎(11期)

昨年は数年ぶりにホテルを会場に総会、懇親会を開催しました。

幅広い年代の多くの方に参加いただき、ありがとうございました。

今まで顔見知りだったけど、同窓生だったことが初めてわかった方もいらっしゃったようです。

参加いただけなかった方の中にも、いろいろな業界で活躍されている同窓生も大勢いらっしゃいます。

県内で仕事をしていると、意外なところで同窓生に出会うこともあり、同窓生とわかった瞬間から親近感もわき、お互いに信頼感も生まれますし、役所とかで同窓生が担当になっていただいたときは、少しは緩くしていただけるような気がします。

先日も業界のお役目で役所に陳情に回った時に、県庁では県建築行政のトップである土木部次長の畝本さん(電気5期生)、白山市役所では西尾さん(建築1期生)、能美市役所では金子さん(建築2期生)にお会いしました。

みなさん、要職に就かれており、同窓生であることを誇りに思いました。

県内の設計業界を見ても、独立し活躍されている方も多く、みなさん、同業者団体の中では中心的な役割も担っており、高専の卒業生は優秀だとも言われており、うれしく思います。

先日、日本建築家協会のJIA建築年鑑2015が届き、その中に、若林さん(建築7期生)の作品が2つも掲載されており、日本の建築設計業界の上層部で活躍されていることがうかがえました。プロフィールには日建設計執行役員、設計部門代表とあり、過去に数々の受賞歴もあり、なんとなく知ってはいましたが、あらためて、すごいなあと思いました。

このように、同じ石川高専を卒業したみなさんとの交流をすることも出来る同窓会は有意義だと感じており、今後も活動を活発にしていきたいので、みなさんの御参加をお待ちしております。

よろしく願いいたします。



ほおづえ会からのお知らせ



facebookのお知らせ

現在facebookにある、ほおづえ会のグループ(<https://www.facebook.com/groups/677037649002677/>)ですが、イベントのお知らせ等ご活用いただきありがとうございます。

また引き続きグループへの参加をお待しております。

同窓会にまさにうってつけのfacebookですが、管理人の同級生は数人しか居ません。微妙にアナログ世代なのでしょうが？反対に既に入っていたほおづえ会関係の方でも、拘束される感じが嫌だと、早々に見切りをつけて退会された人も見かけます。あまり流行のシステムに依存せずに、本来のほおづえ会サイト(<http://hoozue.org>)を充実するようにしていく必要があると感じました。

HPについてのご不明な点、企画のアイデア、または活用のアドバイスなどありましたらE-Mail:office@hoozue.orgまでご連絡いただければ幸いです。

住所変更の届出のお願い

現在ほおづえ会では名簿を発行しておりません。会報などの連絡・郵送のため会員1名につき、住所1つのみを管理しております。住所変更の際には、お手数ですが、下記の名簿担当幹事または事務局までご連絡ください。

e-mail:utd@ishikawa-nct.ac.jp (内田)

尚、ほおづえ会と石川高専の全体同窓会とは住所データの管理は別となっておりますので、お手数ですが住所・勤務先・電話番号などの変更や登録、発行名簿に関する問い合わせは全体同窓会の方へお願いいたします。

会費納入のお願い

ほおづえ会は、会員の皆様の会費によって運営されています。平成28年度会費(3,000円)の振込用紙を同封させていただきますので、会費納入のご協力をお願いいたします。

銀行ATM等から振り込む場合は以下のご指定ください。

※振込手数料がかかります。

銀行名：ゆうちょ銀行
金融機関コード：9900
店番：079
預金種目：当座
店名：〇七九店(ゼロナナキユウ店※)
口座番号：0031159

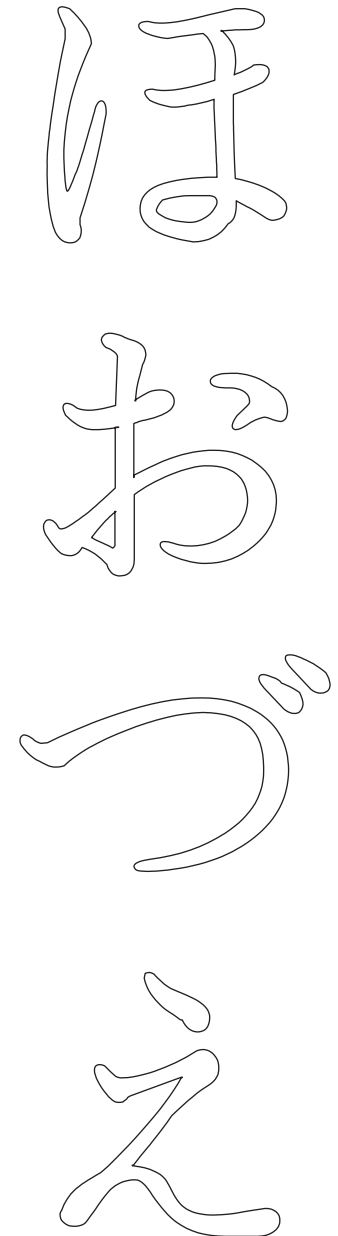
※web振込の際に求められる支店名の入力の際は ゼロナナキユウ とご指定ください。

※ご依頼人の名前を指定する際、氏名だけでなく、卒業期も入れてください。(例)〇キ ナマエ

石川工業高等専門学校 建築学科 同窓会会報

Vol.24

<http://hoozue.org>



平成28年7月28日発行

■ 企画編集／ほおづえ会
■ 発行／ほおづえ会事務局

ほおづえ会事務局
(石川工業高等専門学校建築学科同窓会)
〒929-0392

石川県河北郡津幡町北中条タ1
石川工業高等専門学校 建築学科(内田)

TEL / 076-288-8184

FAX / 076-288-8191

ほおづえ会 HP



Facebook グループ



建築学科は2020年に50周年を迎えます。
なお石川高専は2015年に創立50周年を迎えました。



平成27年11月29日、金沢東急ホテルにて平成27年度ほおづえ会総会が、17時より34名の出席者にて行われました。近年の総会は、紀友祭の日に合わせて石川高専で開催していましたが、今回は数年ぶりにホテルで開催しました。限られた時間ではありましたが、今後の活動の方向性を確認できた有意義な会となりました。

出席された皆様お疲れ様でした。

◎平成26年度 事業報告

- ・ 懇親会(金沢:平成26年11月)
- ・ 会報 第23号 発行(平成27年7月)
- ・ ホームページ更新、facebookページの更新、充実

◎平成27年度 事業計画

- ・ 総会、懇親会(平成27年11月)
- ・ ほおづえ会会報第24号 発行(平成28年7月)
- ・ ボウリング大会へ補助(平成28年5月・11月)
- ・ 随時ホームページ更新、facebookへの投稿など情報発信
その他、建築見学会、懇親会、インターンシップ協力、
学校授業、紀友祭に協力などを検討中

◎平成26年度 収支決算報告

(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

<収入の部>

・ 会費(正 50周年を考慮し徴収無し)	0
・ 会費(準 1,000円×35名)	35,000
・ 会費(卒業生 3,000円×35名(37名中))	105,000
・ 預金利息	352
・ 前年度繰越金	1,606,225

合 計 1,746,577

<支出の部>

・ 印刷費(会報)	55,400
・ 通信費(会報送料等 82円×1145通)	93,890
・ 事業費(学校への補助)	200,000
・ 雑費(振込手数料)	432
・ 次年度繰越金	1,396,855

合 計 1,746,577

◎平成27年度 収支予算(案)

(平成27年8月1日～平成28年7月31日)

<収入の部>

・ 会費(正 3,000円×60名)	180,000
・ 会費(準 1,000円×200名)	200,000
・ 会費(卒業生 3,000円×40名)	120,000
・ 総会会費(5,000円×40名)	200,000
・ 寄付金	0
・ 雑収入	0
・ 前年度繰越金	1,396,855

合 計 2,096,855

<支出の部>

・ 総会費用	320,000
・ 会議費	30,000
・ 事務費	50,000
・ 印刷費(会報)	50,000
・ 通信費(会報送料等)	150,000
・ 事業費(BBQ,ワークショップ)	100,000
・ 事業費(学校への補助)	200,000
・ 事業費(HP維持費)	100,000
・ 慶弔費	50,000
・ 予備費	1,046,855

合 計 2,096,855

◎平成27・28年度 役員

会 長	石 村 聖一郎 (11 期)	
副 会 長	由 田 徹 (12 期)	
	家 山 真 (14 期)	
常任幹事	山 岸 学 (16 期)	HP担当
	村 田 一 也 (20 期)	郵送担当
	大 杉 建太郎 (29 期)	広報担当
	東 川 佳 世 (33 期)	
事 務 局	内 田 伸 (20 期)	会員住所管理、 学校窓口担当
会 計	中 川 恵 (13 期)	
会 計 監 査	三 谷 創 (7 期)	



総会に引き続き懇親会も開催しました。

2期生の宮川さんから39期生の宇野さんまで、幅広い年代の34名の参加があり、女性は8名でした。

卒業生でもある、内田先生、村田先生にも御参加をいただき、御夫婦で参加していただいた方、自営されている方、建築とは離れた仕事をしている方……など、いろいろな方に参加していただき、幅広い交流がはかれたと思います。

2期生の宮川さんの乾杯に始まり、何人かの方にプロジェクターの映像を交えた近況報告などもしていただき、28期生の南村さんの中締めで締めくくりました。

近況報告では石川県の代表的な建物に携わった方の画像の紹介や、建築から離れ、他業種で頑張っているお姿を拝見することができ、とてもなごやかに過ごすことができました。

次回は来年の秋に開催予定です。

多くの方の御参加をお待ちしております。

詳細は来年の会報に掲載予定です。



ほおづえ会の活動について

■オール女子会

田中 宮土理 (旧姓 今崎) (21期)

6月25日に第二回オール女子会を開催しました。集まったのは15期から39期までの17名の女子とゲストの川原先生、ほおづえ会会長の石村さんです。

まずは、川原先生に40分ほどお話をいただきました。50周年の時に製作された学校の歴史を紹介する映像を観ながら、最近の学校の様子を教えてくださいました。卒業後、何年も学校へ足を運んでいない人が多く、近況を知ることができてよかったと思います。川原先生のトークは相変わらず軽快で、あっという間の40分でした。乾杯の挨拶では、石村会長からはほおづえ会の活動や卒業生の動向についてお話をいただきました。

宴会は、もちろん盛り上がり、女性ばかりでとても賑やかでした。在学期間が重ならなくても、すぐに打ち解けて話ができるのは同じ学校を卒業し、同性である良さだと改めて感じました。家庭のこと、仕事のこと、将来のこと、共通の話題はたくさんあります。

こんな風に卒業後、先輩後輩の人間関係がいきいきとつながっていて、広がっていけるということは豊かなことだと思います。

今回もFacebookでの告知がメインでした。次回、お知らせをFacebook以外で連絡を欲しい方は、midorinn5@gmail.comまでお知らせください。できるだけみなさんに連絡が届くようにしたいと思っています。私のことを知らない人がほとんどだと思います。が、不安な方は知っている同期でも誘って気軽に参加していただけると嬉しいです。



会員近況

藤田 一実 (旧姓 青木) (23期)

atelier-fos一級建築士事務所 代表

昨年2015年秋に岐阜県から北陸へ転居しました。久しぶりの北陸の気候に最初は戸惑い、家事をリズムよくこなすのに四苦八苦していました。気候風土によって住まい方が随分変わるものだと実感した、貴重な経験でした。福井市に住み、山に登ったり魚を釣ったり文化活動に参加したり、これまでより少しだけ積極的に豊かな暮らしにしていきたいと思っています。私達23期は石川高専を卒業し今年で20年目となります。私も40歳になったわけで、イメージしていた40歳と違っていたり、受け入れる部分もあったり、漠然とした不安があったりします。この時期に地元に近い場所へ来られたのは本当に有り難いことでした。特に高専同期とすぐにも会える楽しさや安心感は他では得難いことです。

現在は独りで設計事務所を開設しています。ご縁が重なり、設計させていただく機会に恵まれ、建築することに関わっています。施主に喜んで住んで(使って)もらう。この最低限はクリアしつつ、賞などにも応募しています。力不足を何度も自覚し、ヘトヘトになりますが、入選するとやはり嬉しく少し元気が出ます。さて、そろそろ子どもたちを迎えに行く時間です。ご飯を食べさせ、お風呂はいるよ！宿題終わった？の決まり文句連発な毎日です。

谷 翼(30期)

京都大学、大学院を経て2008年より大成建設へ。初めの6年間を構造設計、その後は研究所勤めで、昨年度からは社会人ドクターとして京都に月イチで通っています。専門は？と聞かれれば「振動」と答えます。ややマニアックな世界ですね。近況ということで、最近あった出来事を二つ紹介させていただきます。

先日、ふと手に取った専門書が北田幸彦先生の著作でした。しかも共著者は大学の指導教授。高専、大学での指導教授両名が共著で本を書いていること、その本をたまたま手に取るということに不思議な縁を感じました。他にも長野の現場で後輩に会ったり、確認申請時に同級生とすれ違ったり、時折訪れる「石川高専との再会」はなかなかいいものです。

これまた先日の話ですが、新しく開発した制振システムの新聞発表のため、生まれてはじめて取材なるものを受けました。会報が手元に届くころには世に出ていると思います。誰も考えたことのない構造を、と思い立ってから早15年、ようやく手の届くところまでやってきました。続けてみるものですね。

高専の先生になってみたいと思った時期もありますが、もう



少し実務を頑張りたいと思います。構造が専門という卒業生は少ないように思うのですが、少なくともここに一人いる、と知っていたら幸いです。

向口 千草 (35期)

金沢市歴史都市推進課

卒業していつのまにか8年もの月日が流れていました。私は卒業後、金沢市役所に建築技師として入庁しました。最初は営繕課に配属されて4年過ごし、現在は歴史都市推進課に配属されて3年目になります。歴史都市推進課は全国でもめずらしい部署で、市内の文化財保護行政の建築部門に特化した課です。主な業務としては国の文化財である重要伝統的建造物群保存地区の保全整備、金沢市の文化資産である金澤町家の保全活用、市内にある文化財建造物の整備等を行っています。中でも、現在私が携わっている「旧平尾家住宅修繕工事」についてすこしお話をさせていただきます。

旧平尾家住宅は江戸末期に建築された武士住宅で、金沢市指定文化財(建造物)に指定されています。H27年度より金沢湯涌江戸村での移築修繕工事が行われています。移築なので、元々別の場所にあったものを全解体し、別の場所で復原修理を行います。復原とはざっくり言うとうちを建て替えることですが、建物にとって一番価値が高い時代の姿と言えます。その姿を探るために、柱・梁・その他様々な部材の1本1本をじっくり見て触り、釘穴1つ1つの寸法を計り、野帳をとります。地道な作業ですが、発見があった時はとても嬉しいです。卒業した際は関わるとは思っていなかった伝統建築の世界ですが、知れば知るほど興味深く、日々新鮮な発見があります。まさに「温故知新」を肌で感じています。

旧平尾家住宅はH29年度に主屋等が完成予定ですので、興味のある方はぜひ金沢湯涌江戸村に遊びに来てください。





学内ニュース



●石川高專着任のごあいさつ

恩村 定幸(おんむら さだゆき/博士(工学))

はじめまして、昨年の10月に建築学科の准教授として着任いたしました恩村定幸です。これまで、屋上緑化やコンクリート壁体などでの熱や湿気の移動性状に関する研究をしてきました。実験と解析を行い、省エネ性や断熱性能、結露防止、外装材の剥落防止等を検討しています。

20年ほど、総合建設業の技術研究所で建築環境工学の専門家として働いていましたので、上記のような学術的な研究に加えて、様々な調査・研究開発を行ってきました(仮設材の合理化、重量床衝撃音レベルの予測、ビル風検討の支援、シックハウス対策、環境磁場の測定、省エネ技術の調査など)。また、兼務の環境管理部にて、自社の「環境報告書(現CSR報告書)」の編集・発行(2005年～2012年)に従事すると同時に、昨今の省エネ法改正への対応も行ってきました。

学生たちの成長のために、以上のような経歴をフルに活かしていきたいと考えていますので、よろしくお願いたします。

本間 小百合(ほんま さゆり/博士(工学))

平成27年10月から建築学科の助教として着任いたしました本間小百合と申します。今年の3月に千葉大学の後期博士課程を修了しました。出身地は静岡県熱海市です。着任後の半年間は、在学中ともあり、慣れない土地での新しい生活に戸惑いや不安もありましたが、建築学科の教員皆様の温かい支えがあり、無事に学位を取得することができ、今日まで来ることができました。

私の専門は鋼構造です。大学時代では、設計者に憧れて建築学科へ進学しましたが、いつしか、自然災害による建物被害から人の安全を守りたいと強く思うようになり、研究室配属を期に構造の分野へ移行しました。研究室では、年中実験が行われているような環境下で研究に没頭でき、私にとって貴重な経験となりました。念願であった教員となれた今、これまでの経験を活かし構造の面白さを伝えていけたらと思います。また、石川県で新たな鉄骨の火が灯せるよう研究にも力を入れていきたいです。

●1年間の活動記録

- 平成27年04月 「第25回ボウリング大会」(藤江レジャラン)
- 平成27年06月 短期留学生2名(タイ:キングモンクット工科大学)
- 平成27年07月 第50回北陸地区高等専門学校体育大会 男女総合10連覇
- 平成27年07月 第2回うちわコンペ(最優秀賞は5A河野くん)
- 平成27年07月 体験入学2日間実施
- 平成27年08月/09月 公開講座2つ継続実施
- 平成27年10月 恩村定幸先生、本間小百合先生が着任
- 平成27年10月 3年1泊(愛知)/4年3泊(ベトナム/ハノイ)合宿研修
- 平成27年10月 *建築学科の海外研修旅行は4度目。
- 平成27年10月 第50回紀友祭およびオープン・カレッジ
- 平成27年10月 第21回北陸の家づくり設計コンペ 優秀賞1点(4A吉田さん)
- 平成27年11月 50周年記念事業/新スクールバス発車式
- 平成27年11月 デザインコンペ最優秀案(5A大伏君)が実現
- 平成27年11月 石川高專創立50周年記念事業
- 平成27年11月 デザコン2015わかやま 本選参加
- 平成27年11月 42回石川県デザイン展で4作品が受賞
- 平成27年11月 「第26回ボウリング大会」(藤江レジャラン)
- 平成28年03月 42期生(39名)が卒業(進学16名/就職23名)
- 平成28年04月 新校長/新規非常勤講師着任(林野先生、政田先生)
- 平成28年05月 「第27回ボウリング大会」(藤江レジャラン)
- 平成28年06月 ラーニングcommons(図書館下ロビー改修)
- 平成28年06月 短期留学生2名(タイ:キングモンクット工科大学)
- 平成28年07月 第3回うちわコンペ(最優秀賞は5A吉田さん)

.....
平成28年07月17日 「ル・コルビュジエの建築作品」世界文化遺産登録

●石川県デザイン展で受賞

「第42回石川県デザイン展」において学生部門の第1部で銅賞と奨励賞、第2部で銀賞、奨励賞の合計4作品が受賞しました。

■【学生部門】第一部 銅賞 「ちいさな道の駅のおおきな屋根」
喜多涼香、江川安乃、西出早也香(5年)宇佐美彰翔(4年)
第一部 奨励賞 「Minimum Roadside Station」
山本拓也(4年)

■【学生部門】第二部 銀賞 「渦巻座」
大江遼平、高山桃子、橋ひかる、布袋和樹、
キム カエウ オンキア(3年5名共同)
第二部 奨励賞 「CUBE RUCK」
坪田 咲、岩崎泰成、宮崎海斗、吉田大起、吉村真琴
(3年5名共同)

●報告 デザイン・コンペティション2015inわかやま(和歌山高専)

第12回全国高専デザコン2015は、11月14日(土)～15日(日)にかけて和歌山高専で開催されました。今回のデザコンはメインテーマに「ささえる」石川高専からは3部門で学内予選や一次審査を通過した5作品が本選参加となり、空間デザイン部門で「審査員特別賞」を受賞しました。メインテーマは「ささえる」でした。



■空間デザイン部門 審査員特別賞

「Portal-塔がつなぐ八の端初-」指導教員：内田 伸
学生：大伏玄泰、河野 誠、楠 拓也、山本拓也
(5A3名、4A1名共同)

デザコン2016(高知県)テーマは「はちきん」と「いごっそう」です。

●報告 4年生 海外研修旅行 in ベトナム/ハノイ

建築学科4年生46名(引率G科佐々木先生、A科道地先生、村田先生、熊澤先生)でベトナムの首都ハノイを中心に10月6日から3泊5日の海外研修旅行に行きました。本校卒業生である2人のギアさん(ヴォ・チョン・ギア(26期)、ダイ・ギア・トラン(31期)と丹羽隆志さん(25期)3名の協力で、ハノイ近郊の代表作品と最新作の現場見学、ハノイ建設大学との教育交流事業(学生2名(中根君/山本君)が英語で作品のプレゼンテーション)を実施しました。



*専門誌「A+U」2016年07号がヴォ・チョン・ギア・アーキテクトの特集号です。

建築学科4年生は2016年もベトナム訪問予定です。